

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

国際連携・企業連携による里山里海の活性化ステップアップ事業計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

石川県、石川県七尾市、石川県輪島市、石川県珠洲市、石川県羽咋市、石川県志賀町、石川県宝達志水町、石川県中能登町、石川県穴水町、石川県能登町

### 3 地域再生計画の区域

石川県の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

これまでの新たにスローツーリズムに取り組もうとする事業者向けの支援といった取り組みの成果もあり、県内の6エリアでモデル地区が整備されるなど、農家民宿は67軒（H28）から97件（R2）と堅調に伸びている。しかしながら、農家民宿のモデル地区は県内各地域に点在しており、地区同士の連携も図られておらず、情報発信の効果も限定的となっている。さらなるスローツーリズム人口の拡大やより長期の滞在型のスローツーリズムの定着へと発展させていくためには、本県全体で一体的な情報発信の仕組みを構築する必要がある。

また、これまでものづくり企業との連携により、製造業のノウハウを活用した農業・林業の低コスト生産モデルの実証を通じ、こうした技術の確立を図ってきたが、現状ではまだ十分な実用化には至っていない。高齢化や人手不足の流れの中、本県の農家数は、直近10年間で約4割（約1万戸）の減少となっており、これに対応するためにも、低コスト生産モデルの早急な普及を図る必要がある。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

##### 【概要】

国内で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」を強みとして、農家民宿や農家レストランを核とした石川版スローツーリズムを推進することで里山里海地域に人を呼び込み、また、地域資源を活用した商品やサービスの開発の支援を通じ生業を創出することで、地域の活性化をめざす。また、主力産業である農業についても、これまで技術開発に取り組んできたものづくり企業と連携した低コスト生産モデルの普及を進めることで、農業法人の参入を促進する。これにより魅力的な雇用の場が根付き、交流が盛んな持続可能な里山里海モデルの確立を目指す。

【数値目標】

K P I ①	農家民宿の年間利用者数 18,519人 (R1) →20,000人 (R5)							単位	人
K P I ②	能登地域への観光入込客数 768万人 (R1) →910万人 (R5)							単位	人
K P I ③	製造業ノウハウ活用型先進的農業経営体数 28経営体 (R1) →40経営体 (R5)							単位	経営体
K P I ④	-							単位	-
	事業開始前 (現時点)	2021年度 増加分 (1年目)	2022年度 増加分 (2年目)	2023年度 増加分 (3年目)	2024年度 増加分 (4年目)	2025年度 増加分 (5年目)	2026年度 増加分 (6年目)	K P I 増加分 の累計	
K P I ①	18,519.00	481.00	500.00	500.00	-	-	-	1,481.00	
K P I ②	7,681,000.00	400,000.00	500,000.00	519,000.00	-	-	-	1,419,000.00	
K P I ③	28.00	4.00	4.00	4.00	-	-	-	12.00	
K P I ④	-	-	-	-	-	-	-	-	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生推進タイプ（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

国際連携・企業連携による里山里海の活性化ステップアップ事業

③ 事業の内容

令和3年秋に国際機関等とも連携して世界農業遺産国際会議（仮称）を県内で開催し、これまでの本県の取り組みを広く国内外へ発信するとともに、取り組みの深化を図る端緒とする。

また、これまで農家民宿を核として、地域の農家レストランでの食事や体験活動など楽しむスローツーリズムの定着に向けた取組を進め、6つのモデル地区が定着した。新たにこれらのモデル地区の情報を一体的に発信する予約サイトを構築し、より発信力を高めるとともに、広域的な効果の波及やより滞在の長期化につなげることで、効果の拡大を図っていく。

あわせて、これまでものづくり企業と連携して技術開発を進めてきた低コスト・省力化生産モデルについて、農業ブルドーザーの実地講習の実施やいしかわ耕稼塾での研修を通じて人材を育成し、モデルの普及を図っていく。さらに、実証を進める中で明らかになってきた、赤土などの個別課題を解決する実証に新たに取り組み、地域の実情に応じた生産モデルの開発を目指す。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

石川県と県内金融機関が造成した「いしかわ里山振興ファンド」をさらに拡充させる。これにより新たな自主財源の確保を図りつつ、「いしかわ里山振興ファンド」「いしかわ農業参入支援ファンド」の運用益により、事業を自立化させることで、里山資源を活用した農家民宿等の取組みや企業の農業参入といった取組みを支援する枠組みを継続的に自走させていく。

【官民協働】

県と県内金融機関が、いしかわ里山振興ファンド・いしかわ農業参入支援ファンドへの資金の拠出を通じて、民間事業者によるスロートゥリズムなど里山里海を活かした生業づくりや、農業法人等による農業参入を支援する。また、県とコマツ、トヨタ、東レといったものづくり企業やIT企業が連携して、製造業のノウハウやIT技術を活用した農業・林業の低コスト・省力化生産モデルの開発・普及を促進する。これらの官民協働の取組みにより、里山里海における持続可能な雇用の場の創出や地域経済の活性化を図る。

【地域間連携】

石川県は国内ものづくり企業や国際機関と積極的に連携し、製造業と連携した農作業の効率化の普及拡大や国内外への能登の里山里海の魅力発信を中心となって推進するとともに、県内金融機関とともに創設したファンドを通じ、自主財源の確保により財政面での事業の推進体制を確保。各市町は、こうしたスキームを通じて、地元の農家民宿や農家レストランの取組みをきめ細かく支援し、スロートゥリズムの基盤となる生業の創出を推進する。

【政策間連携】

新たにものづく企業と連携してこれまで開発してきた農業・林業の低コスト化・省力化生産モデルの普及促進を図ることで、農業法人等の収益力強化を通じた新規参入や定着を促進するとともに、これまで各地域で定着しつつあるスロートゥリズムを全県で一体的に発信することで誘客拡大を図るなど、複数の取組みを通じて里山里海に魅力的な雇用の場を創出し、持続可能な地域の活性化を図るものである。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

	1	2	3	4	5
【地方公共団体名】	石川県	石川県七尾市	石川県輪島市	石川県珠洲市	石川県羽咋市
【検証時期】	毎年度 9 月	毎年度 5 月	毎年度 9 月	毎年度 9 月	毎年度 9 月
【検証方法】	いしかわ創生総合戦略検証委員会にKPIの達成状況を報告し意見聴取	七尾版総合戦略等推進委員会で効果を検証	輪島市創生総合戦略推進審議会において効果を検証	外部委員による有識者会議により検証	住民代表を含めた産官学金労言等の有識者で構成する「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」において毎年度、事業の達成度等を検証・評価し、必要があれば柔軟に計画の見直し等を実施する。

<p>【外部組織の 参画者】</p>	<p>石川県商工会議所連合会、石川県農業協同組合中央会、(公社)石川県観光連盟、(一社)大学コンソーシアム石川、(一社)石川県銀行協会、日本労働組合総連合会石川県連合会、(株)北國新聞社、みらい子育てネット石川県地域活動連絡協議、石川県社会福祉協議会、石川地域づくり協会</p>	<p>能登わかば農業協同組合、七尾・能登島定置網漁業振興会、七尾商工会議所、公益社団法人七尾青年会議所、和倉温泉旅館協同組合、七尾公共職業安定所、金沢星稜大学、のと共栄信用金庫、連合石川七鹿羽咋地域協議会、七尾市町会連合会、七尾市地区福祉協議会連合会、七尾市民生委員児童委員協議会、七尾市保育士会、七尾市女性団体協議会</p>	<p>輪島商工会議所、金沢大学大学院、門前町商工会、輪島市観光協会、能登森林組合、おおぞら農業協同組合、石川県漁業協同組合輪島支所、輪島漆器商工業協同組合、輪島市社会福祉協議会、輪島市婦人団体協議会、連合石川能登地域協議会、輪島市区長会、一般社団法人輪島青年会議所、輪島公共職業安定所、輪島市銀行会</p>	<p>石川県中小企業団体中央会、石川県産業創出支援機構、国連大学OUIK、興能信用金庫</p>	<p>[産]羽咋市商工会、羽咋市観光協会、J Aはくい、(株)ハクイ村田製作所、[官]石川県、邑知郵便局、七尾公共職業安定所、羽咋市教育委員会、羽咋市校長会、[学]金沢大学、[金]日本政策金融公庫、のと共栄信用金庫、[労]ライフ・サポートセンター羽咋[言]北國新聞社、北陸中日新聞、[士]西司法書士事務所 [住民]羽咋市町会長連合会、羽咋市青年団協議会、[福祉]羽咋市社会福祉協議会、[女性]羽咋市各種女性団体連絡協議会、[NPO]わくわくネットはくい等</p>
<p>【検証結果の 公表の方法】</p>	<p>検証後、結果をホームページで公表</p>	<p>ホームページで公表</p>	<p>ホームページで公表</p>	<p>ホームページで公表</p>	<p>検証後、速やかに、市広報または市HP等により公表する。</p>

【地方公共団体名】	6	7	8	9	10
	石川県志賀町	石川県宝達志水町	石川県中能登町	石川県穴水町	石川県能登町
【検証時期】	毎年度 9 月	毎年度 9 月	毎年度 9 月	毎年度 9 月	毎年度 9 月
【検証方法】	志賀町創生総合戦略等策定委員会で効果を検証	宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議で効果を検証	中能登町まち・ひと・しごと創生有識者会議で効果を検証	穴水町総合戦略評価委員会において効果を検証	能登町創生総合戦略推進会議で効果を検証
【外部組織の参画者】	産（大和ハウス工業、石川サンケン、石川県漁業協同組合、志賀農業協同組合、能登中核工業団地協議会、観光協会、商工会、志賀町賑わい創出委員会など）、学（金沢大学、社会教育委員、私立保育園）、金（のと共栄信用金庫）、労（ジョブカフェ石川能登サテライト）、その他（区長会、社会福祉協議会、女性団体など）	産（町商工会、はくい農業協同組合）、官（石川県）、学（金沢大学、県立宝達高校、町立宝達中学校）、金（北國銀行、のと共栄信用金庫）、労（七尾公共職業安定所）、言（町出身アナリスト）、その他住民代表（町区長会、町PTA連合会、町社会福祉協議会など）	産官学金労の関係者（丸井織物(株)、J A能登わかば、能登繊維振興協会、カフェ食堂れんげや、七尾公共職業安定所、中能登町教育委員会、金沢大学、のと共栄信用金庫、中能登町商工会、北陸電力、石川県立鹿西高等学校、NPO法人石川バリアフリーツアーズセンター、中能登町区長会、中能登町女性協議会、中能登町青壮年協議会、中能登町PTA連合会、中能登町保育園保護者会、中能登町	穴水町商工会、のと鉄道(株)、(株)北國銀行、穴水町区長町内会長協議会、金沢星稜大学、穴水町教育委員会、穴水町議会	能登町婦人団体協議会、能登森林組合、能登町商工会、のと青年会議所、おおぞら農協、内浦農協、県漁協小木支所、県漁協能都支所、能登町町会区長会連合会、学校教育関係者、能登町PTA連合会、興能信用金庫、金沢大学、輪島公共職業安定所能登出張所、移住者（子育て中の女性）
【検証結果の公表の方法】	ホームページで公表	ホームページで公表	ホームページで公表	ホームページで公表	ホームページで公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 326,136 千円

⑧ 事業実施期間

2021年4月1日 から 2024 年 3 月 31 日 まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 該当なし。

ア 事業概要

イ 事業実施主体

ウ 事業実施期間  
年 月 日から 年 月 日まで

(2) 該当なし。

ア 事業概要

イ 事業実施主体

ウ 事業実施期間  
年 月 日から 年 月 日まで

(3) 該当なし。

ア 事業概要

イ 事業実施主体

ウ 事業実施期間  
年 月 日から 年 月 日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2024 年 3 月 31 日 まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、5-2の⑥の【検証時期】に

7-1に掲げる評価の手法により行う。

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。